

科目名	演劇概論 I						年度	2025	
英語科目名	Dramatic Outline I						学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	長谷川浩司	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
【科目の目的】 声優・俳優問わず、役者になるための演劇スキルを学ぶ。									
【科目の概要】 演劇史をはじめ、演技を学ぶ上で必要な知識を学ぶ。									
【到達目標】 演劇史をはじめ、舞台用語などの学習確認の為の期末試験を実施し、合格することを目標とする。									
【授業の注意点】 遅刻・欠席厳禁。居眠り厳重注意。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 要努力						
到達目標 A	相手の目を見て挨拶 することができる	挨拶することができる	挨拶することが全 くできない						
到達目標 B	聞き手が共感する 内容で自分の考えを 発言できる	自分の考えを発言 することができる	自分の考えを発言 することができない						
到達目標 C	遅刻・欠席をしない	遅刻・欠席が少な い	遅刻・欠席が多 い						
到達目標 D	演劇史について興 味を持つことができ る	演劇史について理 解がある	演劇史を読解する 意欲がない						
到達目標 E	課題内容を理解し 提出する	課題を提出する	課題を提出しない						
【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		演劇概論 I			年度	2025
英語表記		Dramatic Outline I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	日本演劇史 (上世)	演劇史を身につける	1 呪術	宗教的儀式を学ぶ	1	
			2 鎮魂	宗教的儀式を学ぶ		
			3 神楽	各地の神社における演劇的神楽を学ぶ		
2	日本演劇史 (上世)		1 伎楽	教訓抄を学ぶ		
			2 雅(舞)楽	祭事に使用された儀式を学ぶ		
			3 散(猿)楽	東南アジアや中国の儀式を学ぶ		
3	日本演劇史 (上世)		1 今様	平安時代中期の歌謡を学ぶ		
			2 白拍子	平家物語について学ぶ		
			3 上世まとめ	鎌倉・南北朝時代までの演劇の復習をする		
4	日本演劇史 (中世)		1 延年・延年能	謡曲拾葉抄について学ぶ		
			2 田楽	耕田儀礼の神事について学ぶ		
			3 田楽能	大和猿楽について学ぶ		
5	日本演劇史 (中世)		1 能	世阿弥について学ぶ		
			2 能狂言	狂言謡や狂言小舞を学ぶ		
			3 幸若舞	桃井幸若丸直詮について学ぶ		
6	日本演劇史 (近世・歌舞伎)	1 お国歌舞伎	出雲阿国について学ぶ			
		2 若衆歌舞伎	女歌舞伎について学ぶ			
		3 野郎歌舞伎	狂言尽しについて学ぶ			
7	日本演劇史 (近世・歌舞伎)	1 続き歌舞伎	多幕物について学ぶ			
		2 野郎評判記	印刷文化・出版文化を調べる			
		3 元禄歌舞伎	坂田藤十郎と市川團十郎について学ぶ			
8	日本演劇史 (近世・歌舞伎)	1 役者評判記	役者口三味線について研究する			
		2 絵入狂言本	筋書本について研究する			
		3 鶴屋南北	東海道四谷怪談について研究する			
9	日本演劇史 (近世・人形浄瑠璃)	1 説教節	説教浄瑠璃について学ぶ			
		2 浄瑠璃十二段草子	浄瑠璃姫物語について研究する			
		3 人形浄瑠璃の成立	京めぐりについて研究する			
10	日本演劇史 (近世・人形浄瑠璃)	1 金平浄瑠璃	新興芸能について研究する			
		2 機巧派	からくり人形について学ぶ			
		3 竹本義太夫	大磯虎遁世記について学ぶ			
11	日本演劇史 (近世・人形浄瑠璃)	1 当流浄瑠璃	出世景情について学ぶ			
		2 江戸の人形浄瑠璃	竹本豊竹両座を調べる			
		3 文楽	現代の文楽について研究する			
12	日本演劇史 (近・現代)	1 能	現代の能について研究する			
		2 狂言	現代の狂言について研究する			
		3 歌舞伎	現代の歌舞伎について研究する			
13	日本演劇史 (近・現代)	1 落語	現代の落語について研究する			
		2 江戸落語	東京の落語について学ぶ			
		3 上方落語	大阪の落語について学ぶ			
14	日本演劇史 (近・現代)	1 琉球舞踊	中国から伝わった三弦を学ぶ			
		2 信派	荘士芝居を学ぶ			
		3 新劇	文学座などの新協劇団を学ぶ			
15	日本演劇史 (近・現代)	1 大衆演劇	東宝芸能などのショービジネスを学ぶ			
		2 宝塚歌劇団	出演者が女性だけの劇団を学ぶ			
		3 劇団四季	日本最大の劇団を学ぶ			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						